

# 仏柔道 姫路で五輪合宿

## 県立武道館活用 受け入れ態勢評価

兵庫県と姫路市は28日、同市が2020年の東京五輪でフランス柔道代表チームの事前合宿地に決定した、と発表した。国内最大規模の道場がある県立武道館（同市西延末）などを活用する。同国の柔道は、リオデジャネイロ五輪の男女2階級で金メダルを獲得するなど強豪ぞろい。東京五輪の事前合宿地は西脇市に続き県内2カ所目となる。

（井上 駿、三島大一郎）



東京五輪に参加するフランス柔道代表チームの事前合宿地に選ばれた兵庫県立武道館＝姫路市西延末（撮影・金旻革）

県によると、「フランス柔道の父」と呼ばれ、同国で競技の普及に努めた川石酒造之助（1889～1969年）の出身地でもあり、同武道館など受け入れ態勢が充実していることなどから選ばれたという。

滞在時期や人数、期間は未定。今後、市と県で選手団の宿泊や練習などの環境整備を進めるほか、代表選

手団の交流・歓迎イベントも計画するという。

今年3月には、フランス柔道連盟の副会長らと同武道館の視察に招くなど、誘致活動を進めていた。リオ五輪に出場した同国の柔道代表には、男子100kg超級で日本の原沢久喜選手に

勝って金メダルを獲得したテディ・リネール選手や、女子78kg超級金のエミリ・女子78kg超級金のエミリ・

アンデオル選手らがあり、国別では日本に次ぐ5個のメダルを獲得した。

石見利勝・姫路市長は「フランスと歴史的につながりのある街として評価され、姫路が合宿地に選ばれたことをうれしく思う。選手がリラックスして練習できるよう、環境づくりに最善を尽くす」と喜びを語った。

### 大学生 就職内定 84%

学生のうち、内定を